

## 一般社団法人自然科学書協会 2025 年度（第 75 期）事業計画書

自：2025 年 6 月 1 日

至：2026 年 5 月 31 日

### 1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

○当協会が行う諸事業と会員社の出版活動を通じて科学技術の振興とその普及・推進に努める

### 2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

○文字・活字文化推進機構の活動とも協調して科学技術の振興と自然科学書の普及に努める

○和文会員名簿をホームページで公開し、協会活動と出版活動の周知を図る

○国内外での展示・販売フェアを実施あるいは協力検討を行う

・「自然科学書フェア」を開催する

### 3. 著作権の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行う

・デジタル化及びネットワーク化に伴った著作権の保護，著作物の適正利用を推進する

○著作権法改正に伴う権利制限への動きを注視しつつ，著作権を守る取組みを行う

・授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の構成団体である

出版教育著作権協議会へ構成員として参画する

・図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）へ構成員として参画する

○その他，著作権に関連した活動を行う

・著作権の知識の普及と違法な複製等防止の啓蒙活動を行う

・出版者著作権管理機構（JCOPY）の活動に協力する

・著作権・出版権に関する会員社からの相談事項に対応する

・生成 AI に関しては権利侵害のリスクを踏まえ課題を整理し対応する

### 4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の候補者を推薦する

### 5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○出版活動の向上を図るための研究，研修会を開催する

・関連業界との交流を通して出版活動を活性化する

○出版物のデジタル化及び配信に関する状況・動向を発信する

・出版物のデジタル化の現況を周知し、情報交換を行う

### 6. 広報誌等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年 3～4 回発行して，協会活動を広報する

○ホームページを通して協会活動を周知する

○業界紙等を通して協会活動を広く告知する

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- 出版物再販制度の目的と意義の周知を図り、再販制度維持に向けて活動する
- 日本書籍出版協会と連携し、出版物に対する軽減税率適用に向けての働きかけを継続していく
- 「出版・印刷人の集い」への協賛、「全出版人大会」及び「出版平和堂出版功労者顕彰会」（出版平和堂）等の事業に協力する
- 2026年の当協会創立80周年記念事業へ向けて、80周年記念事業特別委員会を中心に継続的に検討を進める